

令和元年度 建設局運営方針の改定履歴

改定年月	変更内容	備考
令和2年3月	具体的取組「1-1-2 橋梁の維持管理」について、橋梁の定期点検を81橋実施する予定であったが、国補正予算に伴う事業費の増により事業の前倒しを行い、プロセス（過程）指標の橋梁の定期点検実施数を155橋に変更した。	事業費増によるプロセス（過程）指標の変更
令和2年3月	具体的取組「1-1-4 下水道の対策」及び「3-2-1 下水道による水質改善」について、海老江下水処理場水処理施設の改築更新に係る事業進捗率を約28%とする予定であったが、国補正予算に伴う事業費の増により、プロセス（過程）指標の事業進捗率を約31%に変更した。	事業費増によるプロセス（過程）指標の変更
令和2年3月	具体的取組「2-2-1 道路の対策」のうち密集市街地の都市計画道路整備について、豊里矢田線外2路線のうち歩道（電線共同溝含む）工事を約680m完成させる予定であったが、国費の内示減に伴う事業費の減により予定していた工事の一部を次年度以降に先送りするため、取組内容の歩道完成延長を約170mに変更した。	事業費減による取組内容の変更
令和2年3月	具体的取組「2-2-2 橋梁の対策」について、国費の内示減に伴う事業費の減により、取組内容における津波対策を次年度以降に先送りすることとした。	事業費減による取組内容の変更
令和2年3月	具体的取組「2-2-6 地下空間の対策」について、大阪駅前地下道東広場の防災・減災対策の工事進捗率を約15%とする予定であったが、国補正予算等による事業費の増により、プロセス（過程）指標の工事進捗率を約20%に変更した。	事業費増によるプロセス（過程）指標の変更
令和2年3月	具体的取組「3-1-2 うめだエリアの魅力向上」について、JR東海道線支線地下化事業の工事進捗率を約60%とする予定であったが、国補正予算等に伴う事業費の増により、予定していた工事の一部を実施するため、プロセス（過程）指標の工事進捗率を約63%に変更した。	事業費増によるプロセス（過程）指標の変更

改定年月	変更内容	備考
令和2年3月	<p>具体的取組「3-1-6 自転車通行環境の整備」及び「3-3-3 自転車通行環境の整備」について、自転車レーン等の整備の進捗を7.5kmにする予定であったが、国費の内示減に伴う事業費の減により、予定していた工事の一部を次年度以降に先送りすることとしたため、整備の進捗を2.0kmとし、プロセス（過程）指標の自転車レーン等の整備の進捗率を約4%（2.0km/50km）に変更した。</p>	<p>事業費減によるプロセス（過程）指標の変更</p>
令和2年3月	<p>具体的取組「3-3-1 高速道路ネットワークの強化」について、淀川左岸線（2期）工事の工事進捗率を約26%とする予定であったが、国補正予算に伴う事業費の増により、予定していた工事等の一部を前倒して実施することとしたため、プロセス（過程）指標の工事進捗率を約43%に変更した。</p>	<p>事業費増によるプロセス（過程）指標の変更</p>
令和2年3月	<p>具体的取組「3-3-1 高速道路ネットワークの強化」について、国補正予算に伴う事業費の増により、淀川左岸線（2期）工事の工事進捗率を約43%に変更したが、国費の内示減があったため、プロセス（過程）指標の工事進捗率を約33%に変更した。</p>	<p>事業費減によるプロセス（過程）指標の変更</p>
令和2年3月	<p>具体的取組「3-3-2 交通の円滑化」について、工事進捗率を約62%とする予定であったが、国費の内示減に伴う事業費の減により、予定していた工事の一部を次年度以降に先送りすることとしたため、プロセス（過程）指標の工事進捗率を約58%に変更した。</p>	<p>事業費減によるプロセス（過程）指標の変更</p>